

こうちょうせんせい
校長先生より

始業式で校長先生が出した「お年（玉）問題」の答えです。
頭をなやませるのは、つかれますが、がんばったことがすばらしい！
そして、答えが出たときの「スッキリ！」なきもち、「自分って、
すごいな」というきもちを、ぜひ大切にしてほしいです。
下のほかにも、みなさんからいろいろな答えが出ています。

もんだい
<問題>

- ① 下の文が正しくなるように、数と数の間に、「+」か、「-」を書き入れてください。

【答】

例 1) 今年は、平成 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 - 8 + 9$ 年です。

例 2) 今年は、平成 $1 + 2 \quad 3 + 4 + 5 + 6 + 7 - 8 - 9$ 年です。

例 3) 今年は、平成 $1 + 2 - 3 + 4 \quad 5 - 6 + 7 - 8 - 9$ 年です。

【考え方】

例 1) 1～9までたすと「45」です。

それを「29」にしたいので、 $45 - 29 = \underline{16}$

16だけ小さい答えにしないといけません。

「たすかわりに、ひく」と、ひく数の2つ分小さい答えになります。

16 = 8 + 8なので、ひく数は「8」です。

ですから、8のところだけ「-」にすると、答えになります。

例 2) 例 3) 「23」や「45」を作ってから、同じように考えるとできます。

- ② 下の文が正しくなるように数と数の間に、「+、-、×、÷」を^{ぜんぶ}全部使って書き入れてください。また、() を使ってもオッケーです。

(ヒント) 1と2で、「12」と考えるなどしてもいいよ。

【答】

例 1) 今年は、平成 $(1 \quad 2 \div 3) \times 4 - 5 - 6 + 7 + 8 + 9$ 年です。

例 2) 今年は、平成 $1 + 2 \times 3 \quad \times 4 \times 5 \div 6 + 7 - 8 + 9$ 年です。

【考え方】

例 1) わり算についてまず考えて、わりきれる $12 \div 3 = 4$ を使います。

例 2) $2 \times 3 \times 4 \times 5$ が、6でわりきれることを使います。

- ③ 下の文が正しくなるように数と数の間に、「+、-、×、÷、()」など、必要なものを書き入れてください。

【答】

例 1) 今年は、西暦 $1 + (2 \times 3 + 4 + 5 + 6 + 7) \times 8 \times 9$ 年です。

例 2) 今年は、西暦 $1 \quad 2 + \quad 3 \quad 4 \quad 5 \times 6 - 7 \times 8 - 9$ 年です。

【考え方】

例 1) 2017より1小さい「2016」は、9でも8でもわりきれる数です。

$2016 \div 9 = \underline{224} \rightarrow \underline{224} \div 8 = \underline{28}$

ですから、答えは、「 $1 + (\underline{28}) \times 8 \times 9$ 」の形となり、(28)を2～7の数で作ることを考えます。

例 2) 2017に近い数 $345 \times 6 = 2070$ から考えていきます。